



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

東・福

上場会社名 株式会社三越伊勢丹ホールディングス 上場取引所  
 コード番号 3099 URL <http://www.imhds.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 大西 洋  
 問合せ先責任者 (役職名) 業務本部総務部コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 滝口 一雄 (TEL) 03-6205-6003  
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	309,931	8.9	11,588	82.8	13,055	69.8	8,774	82.2
27年3月期第1四半期	284,689	△6.1	6,340	△40.1	7,689	△33.3	4,816	△28.7

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 10,419百万円(426.7%) 27年3月期第1四半期 1,978百万円(△85.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	22.26	22.18
27年3月期第1四半期	12.21	12.16

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,281,114	583,691	44.3
27年3月期	1,291,560	577,655	43.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 567,060百万円 27年3月期 560,362百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	5.00	—	6.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	600,000	3.2	10,000	2.5	9,000	△19.7	6,000	△1.7	15.22
通期	1,300,000	2.2	35,000	5.8	35,000	1.3	25,000	△16.4	63.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期1Q	394,976,414株	27年3月期	394,958,394株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	817,813株	27年3月期	814,336株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期1Q	394,152,610株	27年3月期1Q	394,595,567株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年6月30日)におけるわが国経済は、原油価格の下落や各種政策の影響もあり緩やかな回復基調が続いております。また、好調な企業業績を受けて雇用状況が改善し、個人消費につきましても持ち直しの兆しが見られております。

このような状況下、当社グループは引き続き「常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」の実現に向けて取り組んで参りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は309,931百万円(前年同四半期比8.9%増)、営業利益は11,588百万円(前年同四半期比82.8%増)、経常利益は13,055百万円(前年同四半期比69.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,774百万円(前年同四半期比82.2%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①百貨店業

百貨店業におきましては、「百貨店のあるべき姿」を実現すべく、三越伊勢丹グループならではの絶対的な価値を創造し、提供することに取り組んで参りました。

事業の中核となる株式会社三越伊勢丹の基幹3店においては、世界最高レベルの店舗を目指した取り組みを進めております。

伊勢丹新宿本店では、「世界最高のファッションミュージアム」の実現に向けて、3月にリビング、ベビー子供、ソリューションフロアがリモデルオープンいたしました。また、ファッションと最先端のテクノロジーを掛け合わせることに由来する新しい価値創造につなげる取り組みとして4月10日に「Apple Watch at Isetan Shinjuku」をオープンいたしました。

積極的に新しいテクノロジーを取り入れ、活用する取り組みとして、4月29日には店内の情報発信装置(Beacon)と連動しお客さまのスマートフォン上で、ショップ、ブランドへの道順や、イベント情報などを発信する「ISETANナビ」を、5月20日には、株式会社サイバーエージェント・クラウドファンディングと共同で、インターネット及び店頭展示スペースを活用して、志ある個人・団体を支援する「ISETAN×Make CloudファンディングProgram」をスタートしました。

三越日本橋本店では、「カルチャーリゾート百貨店」をコンセプトに、文化に触れ、新しいコトを始める喜びを感じていただけるショップ「はじまりのカフェ」での生活文化の提案や、これまでにない接客、顧客接点の試みとして「人型ロボット地平アイコ」の受付でのご案内など、日本橋の街とともに文化の発信拠点となるべくファッションだけではない新しい取り組みを進めております。

三越銀座店では、「グローバル百貨店」として、増加する多くの海外のお客さまにも快適にお買いもの頂くため、本年度市中免税店の開業とともに全館のリモデルを予定しています。当期では、リモデルに向けてアテンドスタッフの充実等、販売サービスのグローバル化の強化に取り組まれました。結果、免税売上高が前年の5倍近く増加しました。

首都圏以外の国内グループ百貨店におきましては、商業エリアとして高いポテンシャルを持つ、札幌、名古屋、福岡の地方大都市において各エリアの営業基盤の更なる強化を図っております。

この一環として、訪日外国人の消費の取り込みの為、福岡三越に空港型免税店を出店することを目的として、株式会社三越伊勢丹ホールディングス、福岡空港ビルディング株式会社、西日本鉄道株式会社の3社が共同出資する合弁会社「FUKUOKA DUTY FREE SHOP(仮称)」を設立することに合意いたしました。

小型店の出店につきましては、複数のフォーマットでの出店を引き続き行って参りました。

生活感度の高いお客さまに向けて雑貨や食品、ギフトを編集して展開する小型ショップ「エムアイプラザ」を、埼玉県3店目となる「エムアイプラザ富士見」や、高速道路への2店舗目の出店となる「エムアイプラザ清水」など、4月以降5店舗出店し、21店舗体制となっております。

ラグジュアリーコスメショップ「イセタンミラー」におきましては、10月にファッション・カルチャーの情報発信地表参道・原宿に新規出店する予定です。

加えて、旧三越大阪店の時代から長きにわたり三越の暖簾をご愛顧頂いているお客様のご要望にお応えする為、4月2日に大阪ステーションシティノースゲートビルディング11階に、ギフト関連商品に特化した小型店「三越大阪ギフトサロン」をオープンいたしました。

また、新たな出店形態として三越伊勢丹の編集力を活かした中型のセレクトストアの開発も進めており、4月には東

京ミッドタウンに伊勢丹新宿本店を凝縮したレディースファッションの高感度な独自編集セレクトストア「イセタンサローネ」をオープンしました。12月には、メンズ館のコンテンツを活用したセレクトストアを世界有数のオフィス集積地である丸の内に出店する予定です。

海外の百貨店業については、政府のクールジャパン戦略に連動した新たな海外事業モデルとして、本年度、マレーシアの「クアラルンプール伊勢丹 L O T 10店」を日本の優れたモノ・サービスを展開する新たな店舗としてリモデルオープンいたします。

WEB事業につきましては、昨年5月にサイトをリニューアルし基盤整備を行い、実店舗との融合を進めております。

なお、このセグメントにおける売上高は286,451百万円（前年同四半期比10.1%増）、営業利益は7,983百万円（前年同四半期比169.2%増）となりました。

## ②クレジット・金融・友の会業

クレジット・金融・友の会業につきましては、株式会社エムアイカードがカード会員数の拡大や、外部利用拡大に向けた各種キャンペーンの展開、外部加盟店の拡大に努めました。来年4月にはカード会員特典制度を改定し、お客さまに、より便利にご利用いただけるよう取り組んで参ります。

なお、このセグメントにおける売上高は9,453百万円（前年同四半期比9.1%増）、営業利益は2,392百万円（前年同四半期比4.2%増）となりました。

## ③小売・専門店業

小売・専門店業につきましては、株式会社三越伊勢丹フードサービスが、地域のお客さまのご期待に応える取り組みを推進し、5月15日に基幹店舗であるクイーンズ伊勢丹笹塚店をリモデルオープンいたしました。

なお、このセグメントにおける売上高は13,228百万円（前年同四半期比4.8%減）、営業損失は375百万円（前年同四半期は営業損失317百万円）となりました。

## ④不動産業

不動産業におきましては、レジデンス事業においてグループ保有物件のみならずグループ顧客にとって魅力ある商品・サービスの提供を図っていくことを目的に、4月1日より株式会社三越不動産が株式会社三越伊勢丹不動産に社名変更致しました。併せて、提携先である野村不動産株式会社より新たに物件を取得し、グループシナジーの見込める分野でのレジデンス開発や既存の枠組みを超えた更なる事業拡大の取り組みを検討いたしました。

なお、このセグメントにおける売上高は10,592百万円（前年同四半期比7.0%増）、営業利益は1,546百万円（前年同四半期比2.0%減）となりました。

## ⑤その他

その他の事業におきましては、情報処理サービス業の株式会社三越伊勢丹システム・ソリューションズ、物流業の株式会社三越伊勢丹ビジネス・サポート、人材サービス業の株式会社三越伊勢丹ヒューマン・ソリューションズ等が、グループ各社に対する営業支援体制の効率化促進や、外部営業強化に向けた取り組みを推進いたしました。

なお、このセグメントにおける売上高は15,235百万円（前年同四半期比3.9%減）、営業損失は152百万円（前年同四半期は営業損失205百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,281,114百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,446百万円減少しました。これは主に、現金及び預金、並びに受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものです。

負債合計では697,423百万円となり、前連結会計年度末から16,482百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金が減少したことなどによるものです。

また、純資産は583,691百万円となり、前連結会計年度末から6,035百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、概ね計画通り推移しており、現時点におきましては平成27年5月11日公表の業績予想を変更していません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	58,855	48,192
受取手形及び売掛金	126,024	120,732
有価証券	1,652	1,398
商品及び製品	58,765	59,068
仕掛品	122	155
原材料及び貯蔵品	835	817
その他	52,960	55,481
貸倒引当金	△2,959	△2,998
流動資産合計	296,258	282,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	176,633	174,995
土地	530,970	530,884
その他(純額)	23,491	22,918
有形固定資産合計	731,095	728,798
無形固定資産		
ソフトウェア	18,551	19,992
その他	37,101	37,031
無形固定資産合計	55,653	57,023
投資その他の資産		
投資有価証券	118,408	123,597
その他	90,322	89,032
貸倒引当金	△270	△273
投資その他の資産合計	208,461	212,356
固定資産合計	995,210	998,179
繰延資産		
開業費	—	1
社債発行費	91	84
繰延資産合計	91	85
資産合計	1,291,560	1,281,114

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	123,836	112,539
1年内償還予定の社債	12,000	12,000
短期借入金	40,301	14,734
コマーシャル・ペーパー	10,000	48,000
未払法人税等	4,658	5,034
商品券回収損引当金	24,897	24,524
引当金	16,579	9,335
その他	171,225	163,424
流動負債合計	403,498	389,593
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	78,300	75,300
繰延税金負債	150,823	152,020
退職給付に係る負債	39,967	40,247
引当金	45	45
持分法適用に伴う負債	4,067	4,027
その他	17,203	16,189
固定負債合計	310,407	307,829
負債合計	713,905	697,423
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,198	50,206
資本剰余金	325,171	325,180
利益剰余金	165,131	169,542
自己株式	△1,258	△1,265
株主資本合計	539,242	543,663
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,749	8,585
繰延ヘッジ損益	△1	4
為替換算調整勘定	14,287	14,729
退職給付に係る調整累計額	83	77
その他の包括利益累計額合計	21,119	23,396
新株予約権	1,599	1,581
非支配株主持分	15,694	15,048
純資産合計	577,655	583,691
負債純資産合計	1,291,560	1,281,114



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	284,689	309,931
売上原価	203,531	222,237
売上総利益	81,158	87,694
販売費及び一般管理費	74,818	76,105
営業利益	6,340	11,588
営業外収益		
受取利息	210	201
受取配当金	426	375
持分法による投資利益	934	1,319
その他	646	505
営業外収益合計	2,217	2,402
営業外費用		
支払利息	324	289
固定資産除却損	72	262
その他	472	384
営業外費用合計	868	935
経常利益	7,689	13,055
特別利益		
投資有価証券売却益	19	47
関係会社株式売却益	34	—
特別利益合計	53	47
特別損失		
事業構造改善費用	—	150
事業撤退損	735	—
特別損失合計	735	150
税金等調整前四半期純利益	7,007	12,952
法人税等	1,987	4,228
四半期純利益	5,020	8,723
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	203	△51
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,816	8,774

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	5,020	8,723
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	965	1,888
繰延ヘッジ損益	△7	5
為替換算調整勘定	△781	△1,295
退職給付に係る調整額	△12	△6
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,207	1,103
その他の包括利益合計	△3,042	1,695
四半期包括利益	1,978	10,419
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,982	11,052
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	△633

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	259,851	4,798	10,853	6,160	281,663	3,026	284,689	—	284,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	326	3,864	3,036	3,736	10,963	12,824	23,788	△23,788	—
計	260,177	8,663	13,889	9,896	292,627	15,850	308,478	△23,788	284,689
セグメント利益又は損失 (△)	2,965	2,296	△317	1,577	6,522	△205	6,316	23	6,340

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額23百万円は、セグメント間未実現利益等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	百貨店業	クレジット・金融・友の会業	小売・専門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	286,101	5,306	10,097	6,170	307,675	2,256	309,931	—	309,931
セグメント間の内部 売上高又は振替高	350	4,147	3,130	4,422	12,050	12,978	25,029	△25,029	—
計	286,451	9,453	13,228	10,592	319,725	15,235	334,960	△25,029	309,931
セグメント利益又は損失 (△)	7,983	2,392	△375	1,546	11,546	△152	11,393	194	11,588

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額194百万円は、セグメント間未実現利益等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 連結業績の概要

(単位：百万円)

項目	当第1四半期累計期間 (平成27年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成26年4月～6月)	前年差	前年比
連結売上高	309,931	284,689	25,241	108.9%
連結売上総利益	87,694	81,158	6,535	108.1%
連結販売費及び一般管理費	76,105	74,818	1,287	101.7%
連結営業利益	11,588	6,340	5,248	182.8%
連結経常利益	13,055	7,689	5,365	169.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8,774	4,816	3,958	182.2%

## (2) 三越伊勢丹個別の業績の概要

## ①業績の概要

(単位：百万円)

項目	当第1四半期累計期間 (平成27年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成26年4月～6月)	前年差	前年比
売上高	164,430	146,270	18,160	112.4%
売上総利益	45,221	39,931	5,290	113.2%
販売費及び一般管理費	39,441	37,704	1,737	104.6%
営業利益	9,016	5,549	3,467	162.5%
経常利益	8,889	5,542	3,347	160.4%
四半期純利益	6,363	13,791	△ 7,428	46.1%

## ②店別売上高

(単位：百万円)

店舗名	当第1四半期累計期間 (平成27年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成26年4月～6月)	前年差	前年比
伊勢丹新宿本店	64,530	56,507	8,023	114.2%
三越日本橋本店	41,432	37,964	3,468	109.1%
三越銀座店	21,483	15,782	5,701	136.1%
伊勢丹立川店	9,106	8,751	354	104.1%
伊勢丹松戸店	4,683	4,582	100	102.2%
伊勢丹浦和店	9,966	9,466	500	105.3%
伊勢丹相模原店	5,578	5,489	88	101.6%
伊勢丹府中店	4,530	4,521	8	100.2%
三越千葉店	3,117	3,204	△ 86	97.3%
計	164,430	146,270	18,160	112.4%

## (3) 国内グループ百貨店の売上高の状況

(単位：百万円)

会社名	当第1四半期累計期間 (平成27年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成26年4月～6月)	前年差	前年比
札幌丸井三越	14,249	13,938	310	102.2%
函館丸井今井	1,896	1,943	△ 46	97.6%
仙台三越	8,198	7,649	549	107.2%
名古屋三越	16,844	15,663	1,181	107.5%
静岡伊勢丹	4,637	4,579	57	101.3%
新潟三越伊勢丹	10,575	10,321	253	102.5%
広島三越	3,606	3,585	20	100.6%
高松三越	5,306	4,863	443	109.1%
松山三越	3,496	3,330	165	105.0%
岩田屋三越	26,713	24,415	2,298	109.4%